

**問** バス路線維持費補助金として510万円計上されているが、路線バスは、今後、相良営業所止まりと聞いている。現在わか

る範囲の状況については

**答** 御前崎総合病院から静岡へ行く路線と御前崎灯台から静岡へ行く路線が、19年3月をもって相良営業所から静岡へ行く路線のみとなる。従来の2路線について、今後どうするかは、公共交通会議を開催し検討する予定であるが、当面は、補助金を出して継続していくことになるものと思ふ。

**問** バス路線維持費補助金510万円は、浜岡交番から御前崎総合病院へ行く路線と通学用の循環バスに対する補助金と理解しているが、それで良いか

**答** バス路線維持費補助金510万円は、浜岡循環線に対する補助金と菊川から浜岡へ来る路線に赤

字が生じたことに伴う補助金の合計額である。



**問** 地域振興交流費中、荒廃農地再生対策事業については

**答** 国道150号線沿線を中心に市内全域に広がる荒廃農地を解消するための事業である。

**問** 荒廃農地を解消するための具体的な事業とは何か

**答** 本来、荒廃農地解消事業の所管は農林水産課になるが、一般的な考えの下に事業を行うというこ

とで企画調整課が担当することとした。事業としては、18年度に市内数箇所で行った繁殖和牛の放牧は、荒廃農地解消に有効であるため、今後も拡大していきたいと考えている。19年度は、サツマイモの新品種研究会に参

加したり、18年度から合戸地区で実施している菜の花栽培についても拡大していききたいと考えている。将来的には砂地だけでなく茶園の荒廃地にも

目を向け、農林水産課、商工観光課、健康長寿課、社会教育課等と連携を図って事業を推進していきたいと考えている。

**問** 地域振興交流費中、住宅用太陽光発電システム設置費補助金について、現在のシステム設置件数と今後の見通しは

**答** 住宅用太陽光発電システム設置費補助金については、旧御前崎町において平成15年から取り組みが始められ、平成15年に6件、平成16年に7件、平成17年に11件、平成18年度は44件の申請があった。地球温暖化問題がクローズアップされる中、業者の営業活動も加わって市民の関心は高まって

いる。また、その他の新エネルギーについても補助金を出していきたいと考えている。

**問** 地域振興交流費中、国際交流事業の臨時職員賃金293万9千円は、外国人のための通訳2名分の賃金と聞いているが、この臨時職員は市役所内において勤務するのか、それとも市内各所に派遣



されるものか

**答** 本年度途中から2名体制を採っているが、午前中は市内の各学校に派遣し、午後から市役所内で翻訳事務等を行っている。19年度も午前中1名が市内の小中学校を巡回する計画である。

**問** 災害対策費中、市単工事費6,000万円は、女岩区コミュニティー防災センター建設工事と聞いているが、施設の位置付けと建設の経緯は

**答** 女岩区は、想定東海地震の津波危険地区となっており、以前から高台に避難施設を設置して欲しい旨の要望が地元町内会から出されており、今回、県の補助金を利用して津波対策事業として建設することとなった。事業費の3分の1を県補助金、地元寄付金が1,200万円、残りを一般財源で充当するといふものである。

**問** 御前崎地区には4箇所ほど老朽化している区民館があり、それらの建て替えに当たっては、避難地にもなっているの

で、市から建設費の一部を負担していただけるものか

**答** 旧浜岡町において地区集会所は、全額地元負担金で建設したものを町に寄付していただいている。旧御前崎町と旧浜岡町のやり方に違いがあります

が、今後、補助金の対象になるようなものであれば、そのように対応したいと思いますが、現在、市の負担で建て直すというようなことは考えていません。

**問** 歳入の企画調整費県交付金中、特定発電所周辺地域振興対策交付金は、毎年度交付されるものか

**答** 当該年度に新燃料を入れた場合に交付されるものであるが、19年度は、4号機に新燃料が入ることに伴い、6,262万

円、残りを入ることに伴い、6,262万

円、残りを入ることに伴い、6,262万

円、残りを入ることに伴い、6,262万

円、残りを入ることに伴い、6,262万

円、残りを入ることに伴い、6,262万

円、残りを入ることに伴い、6,262万